

# FZシリーズ

---

## ■ 光学性能と薄さを両立 トライフィールド両面非球面設計

アンテリオール F Z	(1.74)
レシエンテ F Z	(1.67)
アボナール F Z	(1.60)



# 特長

## ★トライフィールド<sup>®</sup>両面非球面設計

- ・3つのエリア設定
- ・各エリアに異なる機能
- ・光学性能と薄さを両立

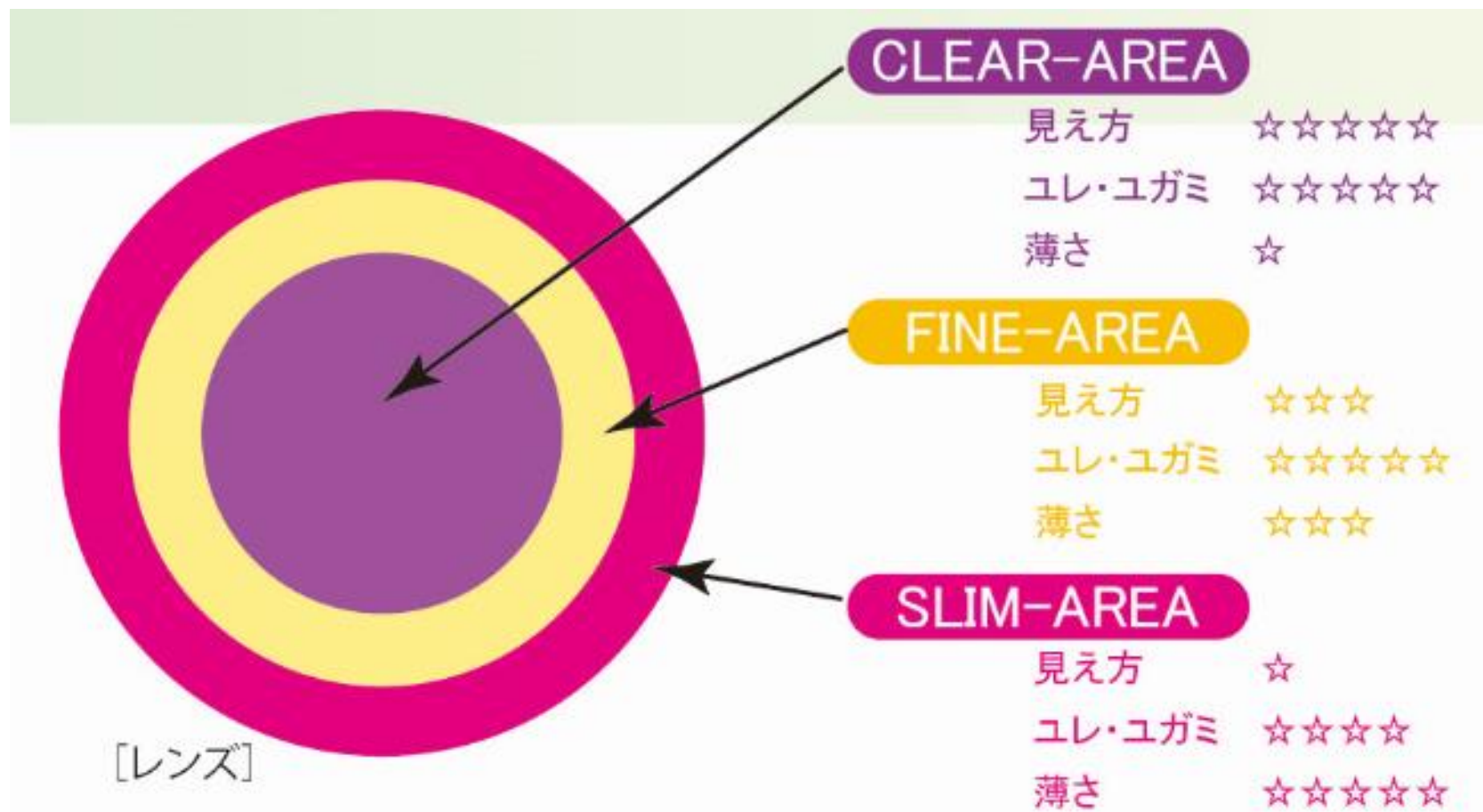
## ★度数別最適設計

- ・度数カーブ別非球面設計
- ・度数別最適エリアサイズ

# お勧めの方

- クリアな見え方と薄さの両方を求める方
- 特に強度数・乱視の方
- 仕上がりを薄くしたい方

# トライフィールド両面非球面設計

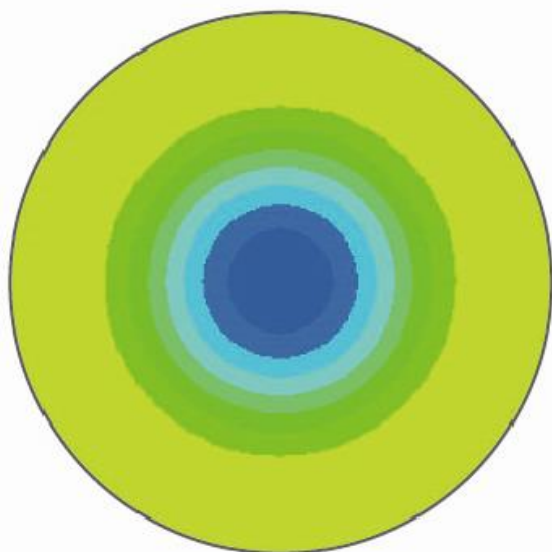


- 1つのレンズの中に3つのエリアを設定
- エリアに異なる機能を設けた高機能レンズ
- 光学性能と薄さを両立した設計

# 見やすい範囲(明視領域)の比較

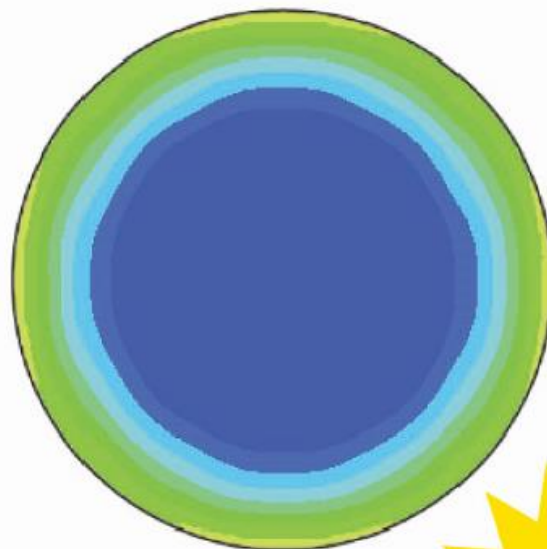
(S-7.00 中心55φの拡大図)

従来非球面レンズ (1.67AS)



見やすい範囲21%

1.67 



見やすい範囲 **62%**

度数による明視領域



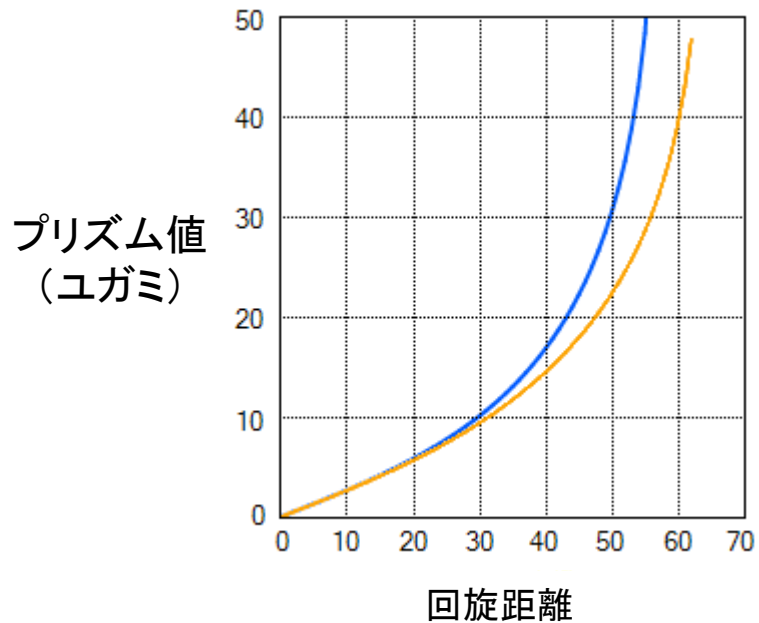
**41% 拡大!!**

(S-7.00 中心55φにおいて当社比較)

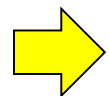
# プリズム(歪曲収差)

## FZ/SPの比較 (S-6.00比較)

黄:FZ 青:SP



■ FZはSPよりもプリズム値が減少

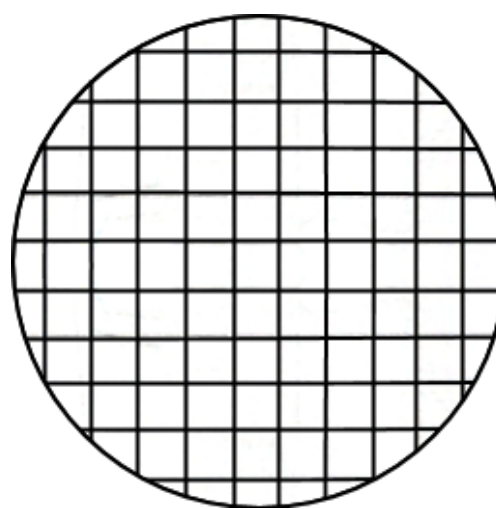


ユガミが軽減

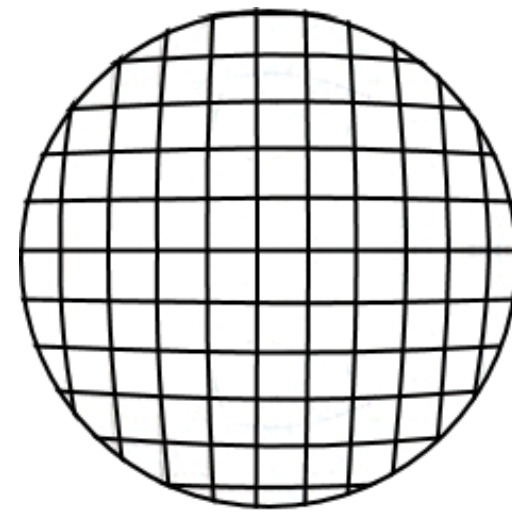
## 方眼紙の見え方

S: -10.00

の場合のイメージ図



FZ

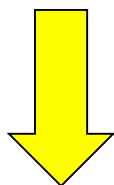


SP

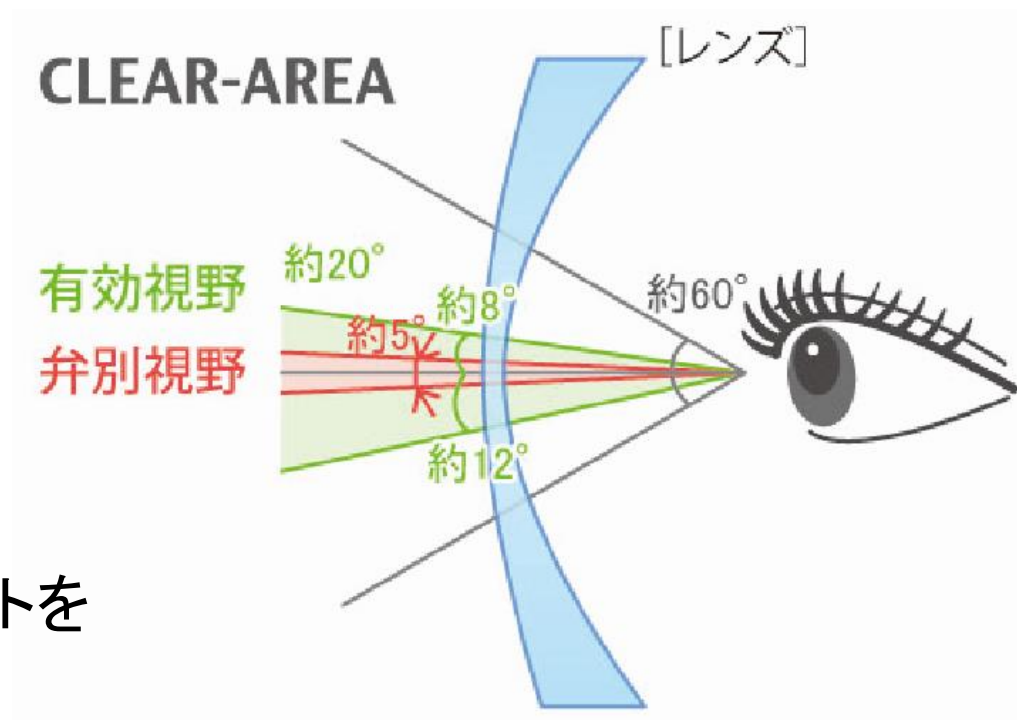
(※当社比)

# トライフィールド両面非球面設計の効果-1

- CLEAR-AREAの範囲内に  
弁別視野と有効視野が入る



- 正面視・側方視において  
ボケを感じにくく、瞬時にピントを  
合わせられる効果がある

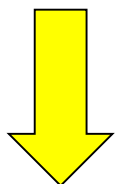


[a] 弁別視野 (約 $5^{\circ}$  以内)  
高精度な情報受容が可能

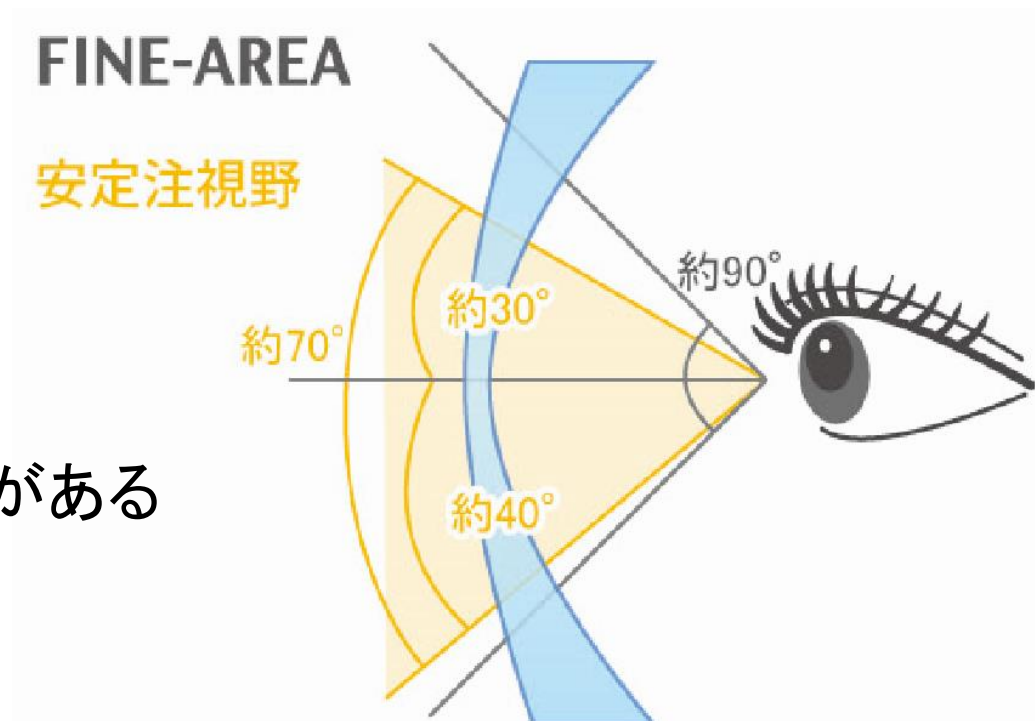
[b] 有効視野 (水平約 $30^{\circ}$ 、垂直約 $20^{\circ}$  以内)  
眼球運動だけで瞬時に情報受容が可能

## トライフィールド両面非球面設計の効果-2

- FINE-AREAの範囲内に安定注視野が入る



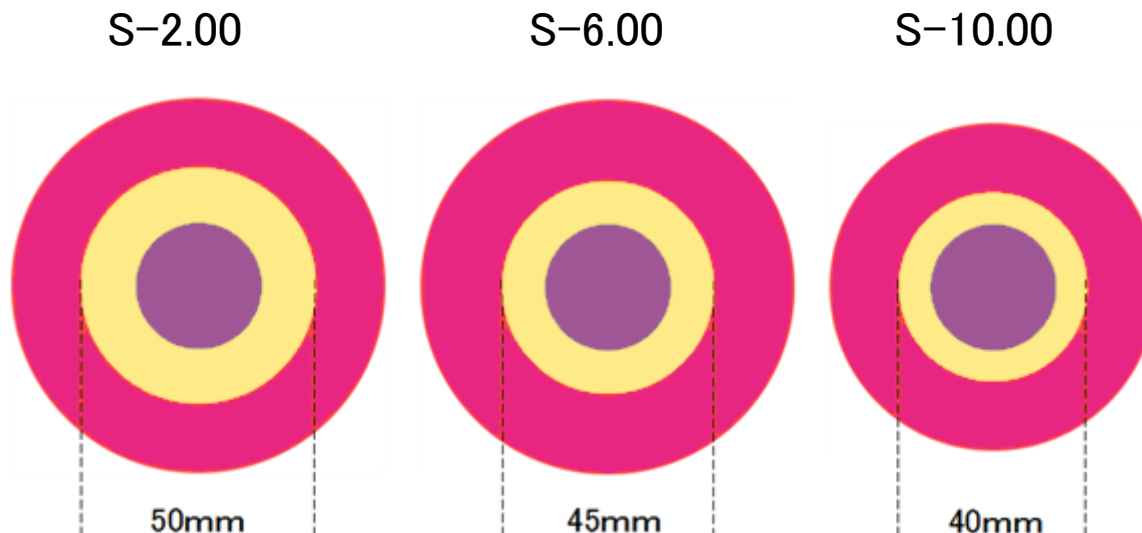
- ユレ・ユガミを抑える効果がある



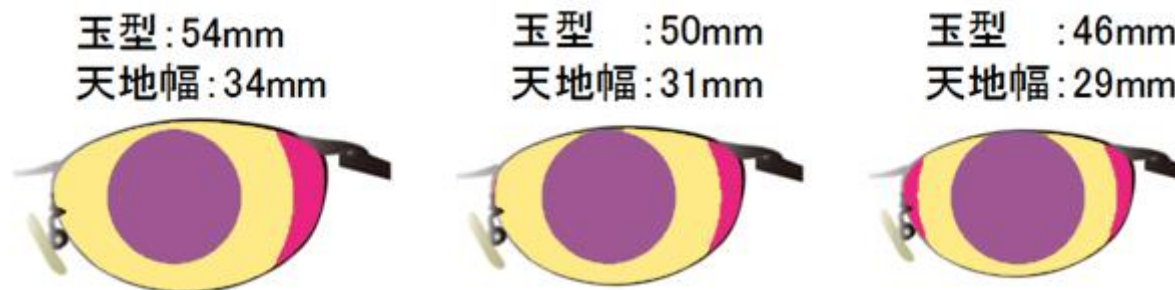
[c]安定注視野(水平 $90^{\circ}$ 、垂直 $70^{\circ}$ 以内)  
安定した眼球・頭部運動により弁別視野内で  
無理なく注視できる範囲

# 度数別最適設計

丸玉イメージ



枠入れ後イメージ



## ■ 度数・カーブ別に非球面を設計

→ どの度数でもトライフィールド両面非球面設計の効果を発揮

## ■ 度数によってエリアの大きさを変化

→ 大きな玉型でもSLIM-AREAの薄さを実感

→ 小さな玉型でもCLEAR-AREAの見やすさを実感



# FZシリーズ 製品仕様

---

■屈折率 : 1.60、1.67、1.74

■特注仕様

- ・プリズム : 可 3.00△まで
- ・外径指定 : 可 55mmまで
- ・厚み指定 : 可 補厚のみ
- ・スレンダー : 可 60/50mmまで
- ・偏芯 : 不可

製品名	アボナールFZ 1.60	レシエンテFZ 1.67	アンテリオールFZ 1.74
度数範囲 (S)	+8.00~-10.00	+8.00~-13.00	+12.00~-20.00
乱視範囲 (C)	0.00~±4.00	0.00~±5.00	0.00~±6.00
外径	65~80mm	65~80mm	60~75mm

